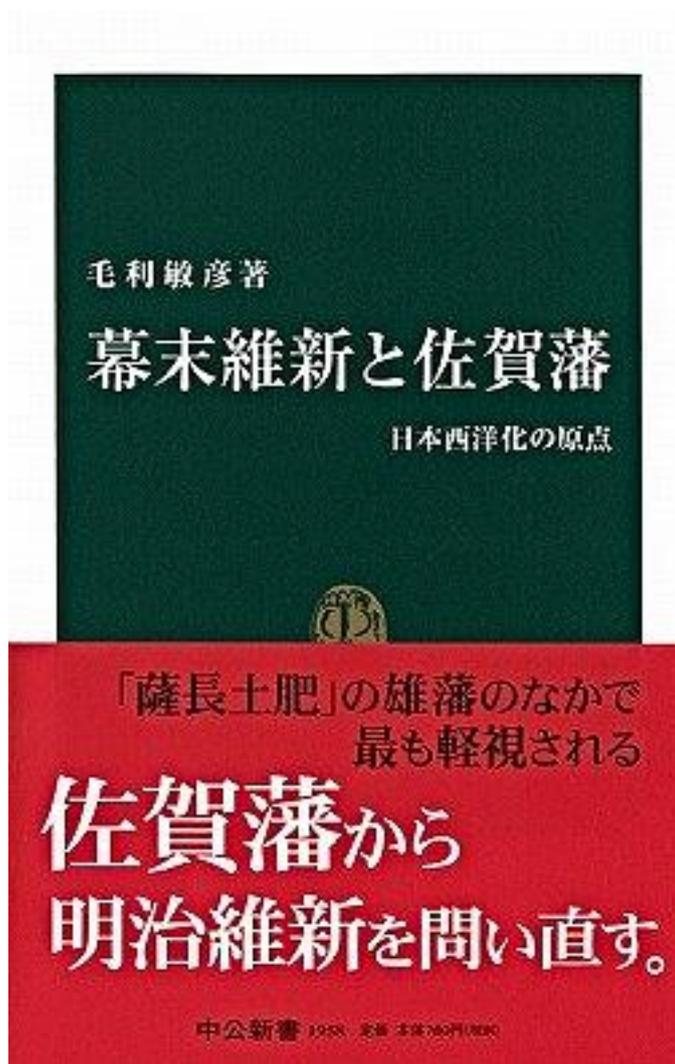


幕末維新と佐賀藩



[幕末維新と佐賀藩_下载链接1](#)

著者:毛利 敏彦

出版者:中央公論新社

出版时间:2008-7-25

装帧:新書判

isbn:9784121019585

明治維新の原動力となった「薩長土肥」の雄藩だが、肥前=佐賀藩の影は薄い。しかし西洋の先進技術を最も蓄積した佐賀藩は、英明な藩主・鍋島閑叟のもと鉄製大砲を製造。幕末期、技術力で幕府や他藩を圧倒し、閑叟は新政府のトップに躍り出る。また開明的な藩士が多数輩出し、江藤新平は教育・司法に「西洋丸写し」とまで称される大胆な制度を導入する。佐賀の乱以降、薩長政権下、活躍が軽視された同藩の真の価値を描く。

作者介绍:

毛利/敏彦

1932年(昭和7年)、千葉県に生まれる。1956年、九州大学法学部卒業、九州大学大学院博士課程修了。大阪市立大学教授を経て、同大学名誉教授、法学博士(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录:

[幕末維新と佐賀藩_ダウンロード1](#)

标签

日本史

幕末

佐賀

佐賀藩

评论

彰義隊毀於肥前野戦砲

[幕末維新と佐賀藩_ダウンロード1](#)

书评

[幕末維新と佐賀藩 下载链接1](#)